

天然原料の品質管理と生産性向上 (1/1)		NO. 15
いぶし瓦中の鉄酸化物の挙動の調査 (1/1)		
研究機関／担当者	三河窯業試験場 本部 (共同研究支援部)	今井 敏博、山口 敏弘、深澤 正芳 加藤 裕和、村井 崇章、中尾 俊章
研究の概要	愛知県の西三河周辺で生産される三州瓦のうち、いぶし瓦は表面に銀色の炭素膜を形成した美観性に優れた瓦であるが、一部の瓦で経年後に色味が変化することがある。昨年度の研究で本現象を調査したところ、瓦素地中の不安定な鉄成分が関与している可能性が示唆された。このため本研究では、鉄成分の反応を意図的に促進する方法を検証し、早期に瓦を判別する加速試験を探っていく。	

窯業原料における可塑性評価の実用化研究 (1/3)		NO. 16
蛙目粘土における可塑性評価の実用化 (1/1)		
研究機関／担当者	瀬戸窯業試験場 三河窯業試験場	長田 貢一 山口 敏弘
研究の概要	良好な粘土採掘場が枯渇してきているため、従前材料に多種少量の材料を混練し、継続的な坏土の配合調製が必要である。粘土鉱物の構造と特性から想定される結晶性および可塑性の相関関係を明らかにし、蛙目粘土を対象に、迅速で従前同様な粘土の調合法を検討する。	